

4月26日(木) 菊池市青年団菊池支部がサッカーボールを寄贈

菊池市青年団菊池支部(上村大輔支部長)が、旧菊池市にある市立の保育園4つにサッカーボールを寄贈しました。4月7日に同支部が菊池公園で行った「結婚披露目会」で販売した、約60鉢のチューリップの益金約3万円を充てたものです。4つの園にそれぞれ3個ずつの計12個が贈られました。

3人の団員が4園のうちのひとつ、第一幼稚園を訪れ、園児たちが整列する前で上村支部長が「数は少ないですが使ってください。そして、将来みんなが青年団に入ってくれるのを待っています」と富田知恵子園長にボールを手渡し、「ありがとうございます。大切にさせていただきます」とお礼が述べられました。

早速、園児たちは、かわるがわるゴール目掛けて真新しいボールを蹴って、楽しそうに遊んでいました。



富田園長(左から3人目)にボールを手渡す上村支部長(左)

4月29日(日) 伊萩区ウォークラリー

今年で30回を迎える伊萩区民体育祭の初めての試みとして、ウォークラリーが行われました。

コースは多目的運動広場から円通寺までの3kmのコースと、姫井橋までの5kmコースの2種類があり、伊萩区民120人が参加しました。同時に参加者は、円通寺と姫井橋でそれぞれの地区の区長さんらのガイドによって旭志の名所についても改めて学習しました。

今回のウォークラリーは「区民の年齢層が代わり、体育祭の参加者が減少していることから、区民みんなが参加できるようにレクリエーション的なことをやってみよう」との意見のもと、佐藤靖昭区長を中心に企画されました。

また、ウォークラリー以外にもグラウンドゴルフ大会も行われ、46人が参加し、爽やかな汗を流しました。



伊萩区民体育祭の初めての試みとして行われたウォークラリーで、気持ちよく歩く参加者たち

4月29日(日) 第2回菊池市小学生ソフトボール大会

熊本ヤクルト(株)の協力のもと、菊池市多目的広場・七城総合グラウンドを会場に、菊池市小学生ソフトボール大会がありました。男子20チーム・女子11チームが参加し、みんなで楽しくプレーしました。上位の結果は次のとおりです。

男子Aパートの部

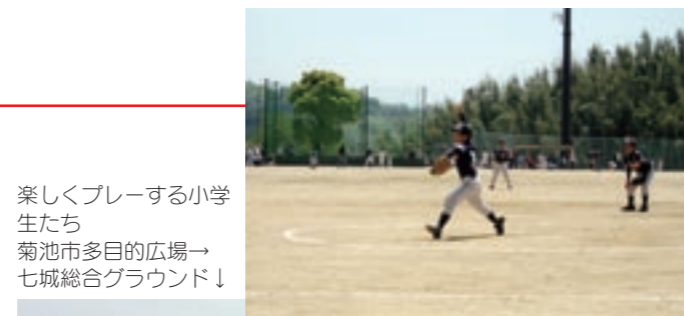
優勝 迫水ブルーファイターズ、準優勝 戸崎小学校、3位 菊池イーグルス、3位 高野瀬1・2区男子

男子Bパートの部

優勝 あさひが丘、準優勝 高野瀬3・4区子供会、3位 菊池クラブ、3位 K's 袈裟尾 男子

女子パートの部

優勝 花房小学校、準優勝 遊豊ファイターズ、3位 水源アクアドルフィンズ、3位 河原小女子チーム



楽しくプレーする小学生たち
菊池市多目的広場→七城総合グラウンド↓



4月22日(日) 菊池市弓道場の落成式

菊池市隈府の菊池公園内に弓道場が完成し、関係者など約100人が出席して落成式が行われました。

式典では、「巻き藁礼射」、「矢渡し」、「一手礼射」などの弓道ならではの祭事が行われ、終了後には、記念祝射会もありました。

参加した弓道愛好家たちは、「すばらしい道場が完成しました。競技はもとより人間形成の修行の場としても大いに利用していきたいです」と話されました。

この弓道場は、旧市営城山住宅跡地に建設され、今後はゲートボール場やトイレ、休憩所も併設される計画です。



式典で「矢渡し」を行う渡邊会長

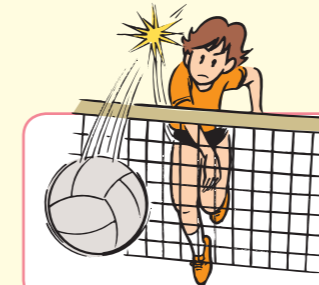
4月22日(日)「泗水ママ」が、第61回ママさんバレーボール大会で優勝

泗水ママ(清田いづみ監督)が、大津町運動公園総合体育館であったママさんバレーボール大会で優勝し、昨年に続く2連覇をはたしました。泗水ママは2連覇の懸かるプレッシャーの中、参加約20チームを見事くさし優勝しました。

清田監督は「チームワークの勝利だと思います。これからもみんなで力を合わせて頑張っていきたいです」と優勝の喜びを話されました。



2連覇をはたした「泗水ママ」チームのメンバー



●メンバー募集

泗水ママではメンバーを募集しています。やる気のある人や興味のある人の連絡をお待ちしています。

練習日 毎週金曜日 練習場所 泗水中学校体育館
問い合わせ先 監督・清田 ☎090(9070)5587

4月26日(木)～環境にも人にも優しい農業を～ 養生市場出荷者65人をエコファーマーに認定

養生市場出荷者協議会(荒木庸介会長)の総会が、泗水ホールで行われ、それに併せて養生市場に出荷している生産者とその家族を含めた65人がエコファーマーに認定されました。

エコファーマーとは、堆肥などによる土づくりと化学肥料・農薬を減らす計画(「環境と調和した農業生産方式の導入計画」)をたて、それを県知事に申請し、認定を受けた農業者の愛称のことです。

現在養生市場に出荷している347人中142人(家族を含めると291人)が認定を受けています。

代表して認定証を受け取った坂本正臣さんは「エコファーマーの表示をしている食品は、消費者の反応も良いと思います。認定された栽培基準に沿って安全・安心・新鮮な食材を消費者に届けたいです」と抱負を述べられました。

また、式では80歳になられた会員2組の表彰も行われました。

養生市場出荷者協議会では、全会員の認定を目標として今後とも活動を進めていくとのことです。



代表して認定証を受け取る坂本さん